

# 平成24年度西原町水道事業会計決算審査意見書

## 第1 審査の概要

- 1 審査の対象 平成24年度西原町水道事業会計決算
- 2 審査期間 平成25年6月26日、6月27日、6月28日（3日間）
- 3 審査の基本方針

審査に付された水道事業会計については地方公営企業法、同施行令及び同施行規則の規定に従い決算報告書、損益計算書、貸借対照表及び剰余金計算書（利益剰余金及び資本剰余金）が適正に表示されているかどうか、また事業の運営に当たっては地方公営企業法第3条の規定の趣旨に従い、常に効率的な運営と公共性の確保に留意されているかどうか重点をおいて審査した。

## 第2 審査の結果

### 1 決算書表

決算報告書等は関係法令の諸規定に基づいて作成されており、収益及び費用の額、資産及び負債の額、利益剰余金、資本剰余金の額は正確であり、当該水道事業の損益、資産、負債及び資本の状況を正しく示しており、適正であると認められた。

### 2 事業の実績

#### (1) 給水人口、配水量等の状況

本年度末の行政人口は35,032人、給水人口は35,021人でともに前年度の99.77%になっている。

給水世帯数は13,425世帯で前年度の100.1%となり、給水人口の増加率より0.3ポイントの増加になっている。

なお給水1世帯当りの人口は2.61人で前年度の99.6%に減少している。給水栓数は9,459件で前年度の100.7%の伸びに止まっている。配水量は4,293,266<sup>m</sup>³で前年度の98.7%に減少している。

人口、配水量等の状況表

区 分	人口、配水量等	人数等	前年度比
25年3月現在	行政人口	35,032人	99.8%
25年3月現在	給水人口	35,021人	99.8%
25年3月現在	給水世帯数	13,425件	100.1%
25年3月現在	給水1世帯人口	2.61人	99.6%
25年3月現在	給水栓数	9,459栓	100.7%
24年度	配水量	4,293,266 m <sup>3</sup>	98.7%
24年度	有収水量	4,118,403 m <sup>3</sup>	98.4%

(2) 配水量、有収水量及び有収率の状況

配水量は4,293,266 m<sup>3</sup>で前年度より55,554 m<sup>3</sup>減少し、有収水量は4,118,403 m<sup>3</sup>で前年度より66,077 m<sup>3</sup>の減少となった。

その結果有収率は95.93%で前年度の96.22%より0.29ポイント減少している。

配水量等の状況表

(単位：m<sup>3</sup>・%)

区分	24年度	23年度	増減量
配水量	4,293,266	4,348,820	△55,554
有収水量	4,118,403	4,184,480	△66,077
有収率	95.93	96.22	△0.29ポイント

(3) 用途別使用水量の状況

用途別使用水量は次のとおりになっている。

① 家庭用

家庭用の使用水量は2,766,444 m<sup>3</sup>で前年度の99.4%に減少している。

構成比は67.2%で前年度66.5%より増加している。

② 営業用

営業用の使用水量は975,954 m<sup>3</sup>で前年度の97.7%に減少している。

構成比は23.7%で前年度23.9%より減少している。

③ 団体用

団体用の使用水量は375,865 m<sup>3</sup>で前年度の93.6%に減少している。

構成比は9.1%で前年度より減少している。

特に大口需要者である琉球大学の使用水量が246,881 m<sup>3</sup>で前年度の使用水量の90.8%になっている。

用途別使用水量表

(単位：m<sup>3</sup>・%)

用途別	24年度	構成比	23年度	構成比	対前年度比	
家庭用	2,766,444	67.2	2,783,704	66.5	99.4	
営業用	975,954	23.7	999,080	23.9	97.7	
団体用	琉球大学	246,881	6.0	272,045	6.5	90.8
	その他	128,984	3.1	129,537	3.1	99.6
	計	375,865	9.1	401,582	9.6	93.6
その他	140	0.0	114	0.0	—	
合計	4,118,403	100.0	4,184,480	100.0	98.4	

### 3 経営成績

本年度の経営成績を 2 期比較損益計算書により前年度と比較すると次のとおりである。

#### (1) 営業収益

営業収益は 815,579 千円となり、前年度の 837,908 千円より 22,329 千円減少している。

これは営業収益のうち水道事業の主たる収益である給水収益が 806,577 千円で前年度の 821,458 千円より 14,881 千円減少し、その他営業収益も 9,001 千円となり、前年度の 16,450 千円より 7,449 千円減少したためである。

#### (2) 営業費用及び営業外費用

営業費用は 755,763 千円で前年度より 1,069 千円増加している。営業費用では受水費は前年度より 5,679 千円減少しており、配水及び給水費、総係費は前年度より増加している。営業費用のうち主なものを掲げる。

##### ① 配水及び給水費

委託料は 21,743 千円で前年度 (29,836 千円) より 8,093 千円減少している。

修繕費が 48,608 千円で前年度 (38,669 千円) より 9,939 千円増加している。これは、棚原配水池補修 (塗装) 工事 14,307 千円などが行われたことによる。

##### ② 総係費

給料が 39,836 千円で前年度 (38,957 千円) より 879 千円増加し、手当が 30,651 千円で前年度 (28,598 千円) より 2,053 千円増加している。手当の増加は人事異動によるものである。

なお営業外費用は 19,357 千円で前年度より減少しているが、これは支払利息が前年度より 2,572 千円減少していることによるものである。

#### (3) 利益

営業利益は 59,815 千円となり前年度より 23,399 千円減少し、経常利益も 41,255 千円で前年度より 21,292 千円減少している。

なお純利益は 41,057 千円で前年度より 21,382 千円減少している。

また営業利益率は 7.3% と前年度より下降し、経常利益率も 5.1% と前年度より下降している。

## 2 期比較損益計算書

(単位：千円)

科目	24 年度		23 年度		対前年度増減額
	金額	構成比	金額	構成比	金額
<b>営業収益</b>	<b>815,579</b>	<b>100.0</b>	<b>837,908</b>	<b>100.0</b>	<b>△22,329</b>
給水収益	806,577	98.9	821,458	98.0	△14,881
受託工事収益	0	0.0	0	0.0	0
その他営業収益	9,001	1.1	16,450	2.0	△7,449
<b>営業費用</b>	<b>755,763</b>	<b>92.7</b>	<b>754,694</b>	<b>90.1</b>	<b>1,069</b>
受水費	438,944	53.8	444,623	53.1	△5,679
配水及び給水費	86,873	10.7	83,889	10.0	2,984
受託工事費	0	0.0	0	0.0	0
総係費	105,185	12.9	104,700	12.5	485
減価償却費	120,607	14.8	120,918	14.4	△311
資産減耗費	4,156	0.5	563	0.1	3,593
その他営業費用	0	0.0	0	0.0	0
<b>営業利益</b>	<b>59,815</b>	<b>7.3</b>	<b>83,214</b>	<b>9.9</b>	<b>△23,399</b>
<b>営業外収益</b>	<b>796</b>	<b>0.1</b>	<b>1,194</b>	<b>0.1</b>	<b>△398</b>
受取利息	533	0.1	877	0.1	△344
雑収益	264	0.0	317	0.0	△53
<b>営業外費用</b>	<b>19,357</b>	<b>2.4</b>	<b>21,861</b>	<b>2.6</b>	<b>△2,504</b>
支払利息	19,289	2.4	21,861	2.6	△2,572
雑支出	68	0.0	0		68
<b>経常利益</b>	<b>41,255</b>	<b>5.1</b>	<b>62,547</b>	<b>7.4</b>	<b>△21,292</b>
<b>特別利益</b>	<b>37</b>	<b>0.0</b>			<b>37</b>
<b>特別損失</b>	<b>234</b>	<b>0.0</b>	<b>109</b>		<b>125</b>
過年度損益修正損	234	0.0	109	0.0	125
その他特別損失	0	0.0	0		0
<b>当年度純利益</b>	<b>41,057</b>	<b>5.0</b>	<b>62,439</b>	<b>7.5</b>	<b>△21,382</b>
前年度繰越利益剰余金	46,921		34,483		12,438
<b>当年度未処分利益剰余金</b>	<b>87,979</b>	<b>10.8</b>	<b>96,921</b>	<b>11.6</b>	<b>△8,942</b>

参考 有収水量 1 m<sup>3</sup>当り収益及び費用の状況表

(単位：円)

1 m <sup>3</sup> 当り単価		24年度	23年度	増減額
供給単価	1	195.85	196.31	△0.5
給水原価	2	188.21	185.58	2.6
給水利益(1-2)	3	7.64	10.73	△3.1

※ 供給単価＝給水収益÷有収水量

※ 給水原価＝（経常費用－受託工事費）÷有収水量

(4) 給水収益の用途別比較

5期比較給水収益内訳表（税抜）

(単位：千円)

年度	家庭用	団体用	営業用	臨時用	合計
24年度	466,279	92,426	247,799	73	806,577
23年度	469,179	98,973	253,245	59	821,456
22年度	467,811	98,080	247,091	17	812,999
21年度	467,275	100,841	245,038	20	813,174
20年度	466,843	107,639	219,481	85	794,048

給水収益を用途別に過去5年間の推移で把握した表が上記である。

家庭用及び団体用は従来より減少傾向にあったが、本年度は営業用も前年より減少している。

このため、全体として増加傾向にあった給水収益であるが、営業用の減少により前年度より減少した結果となった。

#### 4 財務分析の状況

本年度の主な財務分析結果は次のとおりになっている。

- ① 職員一人当りの給水人口 …… (給水人口 ÷ 職員数)  
 $35,021 \text{人} / 9 \text{人} = 3,891 \text{人/人}$   
給水人口が前年度より減少したため、3,891人/人となり、前年度(3,900人/人)より減少している。
- ② 職員一人当たり営業収益 …… (営業収益 ÷ 職員数)  
 $815,579 \text{千円} / 9 \text{人} = 90,620 \text{千円/人}$   
職員数は同じで、営業収益が減少したため、前年度(93,101千円)より減少している。
- ③ 流動比率 …… (流動資産 ÷ 流動負債) × 100  
 $(1,406,740 \text{千円} / 76,107 \text{千円}) \times 100 = 1848\%$   
流動資産項目である現金預金が前年度667,131千円から本年度736,234千円に増加したが、未払金が前年度54,140千円から本年度67,410千円に増加したため、流動比率は前年度より下降している。
- ④ 営業収支比率 …… (営業収益 ÷ 営業費用) × 100  
 $(815,579 \text{千円} / 755,763 \text{千円}) \times 100 = 107.91\%$   
営業収益は前年度より減少し、さらに営業費用が前年度より増加したため前年度(111.03%)より下降している。  
※受託工事は計算式から除かれるが、受託工事収益、受託工事費用ともない。
- ⑤ 経常収支比率 …… (経常収益 ÷ 経常費用) × 100  
 $(816,375 \text{千円} / 775,121 \text{千円}) \times 100 = 105.32\%$   
経常収益は前年度より減少し、経常費用は増加したため前年度(108.05%)より下降している。

当年度減価償却費

⑥ 減価償却率・・・・・・・・

固定資産－土地－建設仮勘定＋当年度減価償却費

有形固定資産が減少したことにより前年度（5.06%）より上昇して5.10%となっている。

分析項目	24年度	23年度
職員一人当り給水人口	3,891人	3,900人
職員一人当り営業収益	90,620千円	93,101千円
流動比率	184.8%	218.7%
営業収支比率	107.91%	111.03%
経常収支比率	105.32%	108.05%
減価償却率	5.10%	5.06%

## 参考計表

【表 1】 給水人口等の状況

年度	行政人口	給水人口	前年度比	給水世帯数	前年度比	給水一世帯人口
2 4	35,032	35,021	99.8	13,425	100.1	2.61
2 3	35,113	35,102	100.2	13,417	101.10	2.62
2 2	35,033	35,022	100.4	13,272	101.5	2.63
2 1	34,881	34,870	100.4	13,080	101.6	2.66
2 0	34,740	34,729	100.2	12,874	101.5	2.69

【表 2】 営業収益等の状況

(単位：千円・%)

年度	営業収益	前年度比	左の内 給水収益	前年度比	供給単価(円)	給水原価(円)
2 4	815,579	97.3	806,577	98.2	195.85	188.21
2 3	837,908	99.6	821,458	101.0	196.31	185.58
2 2	841,667	101.5	813,000	100.0	196.01	182.51
2 1	829,219	102.7	813,175	102.4	195.96	189.95
2 0	807,231	98.7	794,051	99.4	194.48	184.35

【表 3】 配水量等の状況

(単位：m<sup>3</sup>・%)

年度	配水量	前年度比	一日平均配水量	有収水量	前年度比	有収率
2 4	4,293,266	98.7	11,762	4,118,403	98.42	95.93
2 3	4,348,820	100.4	11,882	4,184,480	100.89	96.22
2 2	4,330,938	97.0	11,866	4,147,678	99.9	95.77
2 1	4,465,276	104.0	12,234	4,149,749	101.6	92.93
2 0	4,292,604	100.8	11,761	4,083,035	99.4	95.12

※ 有収率＝有収水量÷配水量

【表 4】 有収水量の用途使用状況

(単位：m<sup>3</sup>・%)

用途	家庭用		営業用		団体用		臨時
	数量	前年度比	数量	前年度比	数量	前年度比	
2 4	2,766,444	99.38	975,954	97.69	375,865	93.6	140
2 3	2,783,704	100.34	999,080	102.35	401,582	101.1	114
2 2	2,774,172	100.13	976,143	100.5	397,330	97.2	33
2 1	2,770,495	100.0	970,474	110.3	408,741	93.9	39
2 0	2,768,356	99.0	879,213	100.2	435,303	100.0	163

【表 5】 貸借対照表 3 期比較

(単位：千円)

科目	24 年度	23 年度	22 年度
	金額	金額	金額
土地	167,121	167,121	167,121
建物	24,896	24,896	24,896
減価償却累計額	△13,770	△13,286	△12,801
構築物	4,017,880	3,952,549	3,901,083
減価償却累計額	△1,983,539	△1,898,359	△1,800,967
機械及び装置	330,446	312,162	296,388
減価償却累計額	△135,919	△114,754	△93,464
車両運搬具	7,937	7,035	7,035
減価償却累計額	△4,063	△4,018	△3,122
工具器具及び備品	9,474	10,435	12,830
減価償却累計額	△8,647	△8,961	△10,574
建設仮勘定	3,176	3,560	3,600
<b>有形固定資産合計</b>	<b>2,414,993</b>	<b>2,438,380</b>	<b>2,492,025</b>
電話加入権	1,710	1,710	1,710
<b>無形固定資産合計</b>	<b>1,710</b>	<b>1,710</b>	<b>1,710</b>
現金預金	736,234	667,131	566,019
未収金	70,322	73,295	84,890
町賦品	185	242	514
短期貸付金	600,000	600,000	600,000
<b>流動資産合計</b>	<b>1,406,740</b>	<b>1,340,668</b>	<b>1,251,423</b>
<b>資産合計</b>	<b>3,823,443</b>	<b>3,780,758</b>	<b>3,745,158</b>
修繕引当金	96,338	92,021	84,037
<b>固定負債合計</b>	<b>96,338</b>	<b>92,021</b>	<b>84,037</b>
未払金	67,410	54,140	53,873
前受金	0	0	0
預り金	8,697	7,141	7,159
<b>流動負債合計</b>	<b>76,107</b>	<b>61,280</b>	<b>61,032</b>
<b>負債合計</b>	<b>172,445</b>	<b>153,301</b>	<b>145,069</b>
固有資本金	7,349	7,349	7,349
繰入資本金	70,909	69,909	68,959
組込資本金	318,037	270,867	270,867
<b>自己資本金合計</b>	<b>396,295</b>	<b>348,125</b>	<b>347,175</b>
企業債	409,304	456,474	504,833

<b>借入資本金合計</b>	<b>409,304</b>	<b>456,474</b>	<b>504,833</b>
<b>資本金合計</b>	<b>805,599</b>	<b>804,599</b>	<b>852,009</b>
受贈財産評価額	179,149	170,030	166,849
国庫補助金	1,998,546	1,979,012	1,969,854
工事負担金	100,322	100,322	100,322
<b>資本剰余金合計</b>	<b>2,278,018</b>	<b>2,249,363</b>	<b>2,237,025</b>
減債積立金	409,304	456,474	405,195
建設改良積立金	70,099	20,099	20,099
未処分利益剰余金	87,979	96,921	85,762
<b>利益剰余金合計</b>	<b>567,382</b>	<b>573,494</b>	<b>511,056</b>
<b>剰余金合計</b>	<b>2,845,399</b>	<b>2,822,858</b>	<b>2,748,081</b>
<b>資本合計</b>	<b>3,650,999</b>	<b>3,627,457</b>	<b>3,600,089</b>
<b>負債資本合計</b>	<b>3,823,443</b>	<b>3,780,758</b>	<b>3,745,159</b>

注1. 文中及び各表の金額は、原則として千円単位で表示し、単位未満は四捨五入した。そのため、差額または合計金額が一致しない場合がある。

注2. 構成比率は、合計が100となるように調整した。